

国民健康保険 南部町医療センター

青森県南部町

【贈呈理由】 移転新築時に、高効率で経済性・利便性・環境性に優れた業務用エコキュートを導入



国民健康保険南部町医療センターは、南部町が地域住民への良質な医療サービスを提供することを目的に、1957年に国民健康保険名川病院として開設された。その後、老朽化がすすんだことから2014年に移転し、外科、内科、整形外科など11の診療科と66の病床を有する病院として地域医療に貢献している。また、同センターには、保健・医療・福祉の連携強化を目的とした「包括ケアシステム」の中核施設として、南部町健康センターが併設されている。

良質な医療サービスのために オール電化システムを採用

移転新築にあたっては、計画段階より経済性や環境性などのさまざまな観点から、良質な医療サービスを提供できる施設を目指して検討を重ねた。また、導入設備の検討においては、医療関係者

が最新のオール電化システムを備えた医療施設を視察するなど、各電化システムの特徴や優位性を理解したうえで、総合的に判断してオール電化システムの採用を決定した。

地域医療の中核として 利用者にやさしい施設を目指す

給湯システムは、業務用エコキュートを導入した。燃烧式給湯機に比べて、安全で環境にやさしく、維持管理しやすい点が高く評価された。また、同センターを利用される方の快適性と利便性を考慮し、蓄熱式電気床暖房や、積雪対策として電気式融雪システムを導入している。

同センターは、今後も利用者の立場にたって、保健、医療、福祉サービスを必要な時に適切な内容で総合的に提供できる施設として、地域医療のさらなる充実を目指している。



業務用エコキュート

国民健康保険南部町医療センター

所在地：青森県三戸郡南部町大字下名久井字白山87-1
 建築設計：(株)相和技術研究所
 建築施工：清水・松本特定建設工事共同企業体
 蓄熱設備設計：(株)相和技術研究所
 蓄熱設備施工：(株)ユアテック
 延床面積：7,361.85㎡
 竣工：2014年(新設)

■蓄熱設備概要
 業務用エコキュート 40kW×2台[三菱電機]
 貯湯槽：6.4㎡×2基